

上手なほめ方 叱り方

12月に行われた子育て親育て研修会2021で、講師の先生がお話されていた内容はとても興味深いものだったので、講演の一部をご紹介します。

「子育てを豊かにする魔法のことば」として、共感的表現についてお話されていました。子どもの気持ちに共感することは、案外できていないものかもしれません。

共感的表現

- ・ そうだね
- ・ そう思うよね
- ・ 気持ちはわかるよ
- ・ 「〇〇したい気持ちはわかるけど、～しようね。」

「テレビを見ながら着替えないで早くしなさい！」



子どもの気持ちに共感しながら伝える

「テレビを見たい気持ちはわかるよ。

着替える時はテレビを見ない約束だよね。

テレビを消して着替えようね。」



「ちゃんとしなさい！」など
あいまいな言い方ではなく
分かりやすく具体的に
伝えることも大切。

また、良い行動を引き出すほめ方のコツも話してくださいました。

①ほめ言葉をかける

「おー、よくできたね。頑張ったじゃない。」

②何が良いかを伝える

「宿題をすぐにできたね。」

③理由を説明する

「これでゆっくり遊べるね。」

④もう一度ほめ言葉をかける

「本当によく頑張ったね。あ、そうだ！ここの片付けが終わったら一緒におやつ作ろうか。」

子どもにとって
都合の良い説明をする
のもテクニックの
ひとつのようです。



どうしても悪い行動が目について、子どもに否定的な言葉をかけてしまいがちですが、共感的表現や肯定的表現を意識すると、子どもにかける言葉も変わってくるのだと思います。「親自身が落ち着くこと」が大切であることも話されていました。子どもといえども一人の人間であり、家族だからこそ、お互い頑固になってしまってもうまいかないこともあると思いますが、豊かな子育てができるような言葉を意識していきたいものですね。

